住宅改修が必要な理由書	ŧ
/ 甘木桂恕へ	

(P1)

記入例

	< 本 作 											
	被保険者 番 号	0123456789	年齢	65歳 生年月日 昭和		昭和 33年1月1日	性別	男				
利	被保険者	長岡 太郎	要介語	進認定	要支援	要介護						
利用者	氏 名		УЛП									
	住 所 長岡市 大手通1-4-10											

		現地確認日	令和5年4月1日	令和5年4月1日				
作		所属事業所	居宅介護支援事業所 長岡市					
作成者	資格	(作成者が介護支援専門 員でないとき)						
		氏名	長岡 花子					
		連絡先	0258-39-2343					

<総合的状況>

		福祉用具の利用	月状況と	
		住宅改修後の想定	改修前	改修後
 利用者の身体状況	令和5年3月1日に自宅の廊下で転倒し、右大腿骨頚部を骨折。入院し、人口骨頭置換術後、3月31日に退院。	●車いす		
では、一つの日の日本のの	室内は、つえを用いて歩行可能だが、見守りが必要。屋外は、車いすを使用。 	●特殊寝台		
		●床ずれ防止用具		
		●体位変換器		
		●手すり		
	骨折前から長男夫婦と同居しており、排泄は一人で行うことができるが、入浴については主に長男の妻が浴槽の出入についての介助を行っている。	●スロープ		
介護状況	日中は、本人しかいない場合がある。	●歩行器		
	介護サービスは特に利用していない。	●歩行補助つえ		
		●認知症老人徘徊感知機器		
		●移動用リフト		
		●腰掛便座		
		●特殊尿器		
		●入浴補助用具		
12 th 36 Mar 1 - 1 - 1 - 1		●簡易浴槽		
■利用者は日常生活を	現在、長男の妻に入浴の一部について介助を受けているが、生活動作や家事(調理)なども含め、自分でできることはしていきたい。 玄関にはすでに手すりと敷台があり、一人で上がり框の昇降ができているので、今回は排泄、入浴及び調理について改善したい。	●その他		
どう変えたいか	できれば、毎日入浴したい。	·		

住宅改修が必要な理由書

(P2)

記入例

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目を具体的に記入してください。>

	①改善をしようと している生活動作 -	② ①の具体的な困難な状況(…なの ◆で …で困っている)を記入してください ■		l的・期待効果をチェックした上で、 ることで ・・が改善できる)を記入してください ■	④ 改修項目(改修箇所)
排泄	□ 排泄時の姿勢保持	・居室からトイレまでの移動はつえ歩行だが、歩行バランスが若干不安定で見守りが必要。 ・トイレのドアが引き戸のため、開閉の際、重心が傾いて不安定。 ・便座からの立ち上がりの際に、支持するところがないので、不安定。	□ できなかったことをできる ようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 ■ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他()	・居室からトイレへの移動経路に、バランスを崩さないよう手すりを設置する。 ・トイレのドアの開閉が安全に行えるよう開き戸を引き戸にする。 ・便座からの立ち上がりを安心してできるよう手すりを設置する。	■ 手すりの設置 (居室からトイレ、浴室への移動経路 (便器横壁面 (脱衣室の移動経路 (浴室内の移動経路
入浴	■ 浴室内での移動(立ち座りを含む) □ 洗い場での姿勢保持	・居室から浴室までの移動はつえ歩行だが、歩行バランスが 若干不安定で見守りが必要。 ・浴室内ではつえは使えず、つかまる場所がないので、移動 に不安がある。 ・浴槽の50cmの縁をまたぐことができず、介助を必要として いる。	□ 割作の容易性の確保	・居室から浴室への移動経路に、バランスを崩さないよう手すりを設置する。 ・浴室内での安全確保のため、移動経路に手すりを設置。 ・浴槽を浅いものに取り替え、バスボードを併用して一人で浴槽への出入ができるようにする。	(■ 段差の解消 (浴槽の交換 (台所出入口の敷居撤去 (当手戸等への扉の取替え
外出	□ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入 (扉の開閉含む) □ 出入口から敷地外までの 屋外移動 □ その他()		□ できなかったことをできる ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他()		(トイレの開き戸を引き戸に交換()()()()
その他の活動	調理 台所までの移動	・台所の出入口に2cmの敷居があり、つまづきやすい。	□ できなかったことをできる ようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 ■ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他()	・敷居を撤去し、出入時の安全を確保する。	□ 滑り防止等のための床材の変更((■ その他(敷居の撤去に伴う台所の建具の継ぎ足し((

住宅改	修が必要な理	由書
++ +		

(P1)

記載要領

< ?	基本情報>	•																				100 4	131
	被保険者番号				年齢	歳	生年月日		年 .	月日	性別					現地確認日	令和	年	月1	日 作成日	令和	年 月	B
利用者	被保険者氏名		坡保険者証等	を確認の	うえ介正	確に記入	要支援 すること。 1・2	経過的	• 1	要介・2		. 4	• 5	作成者		所属事業所 ・正確に記入すること (作成者が介護支援専門員でないとき)	<u>د</u> .						
	住所	長岡市		•		•										氏名 連絡先							
保険者		令和	年 月	保険者(長岡市)	記載欄のオ	ため、記載しな	いこと。															·
	氏 名 総合的状況	1 >			欄																		
	166日 ロンプベルに																			垣礼 E	用具の利用	11.	<u></u>
																				住宅改修後			ー 前 改修後
				·立ち上	がりやバ	ランスの作		った生活動	作に関	する身	·体状況	を記載する	 5。							●車いす			
利	川用者の身份	体状況		・屋内の	移動方法	も(つたいき	歩き、車いする	引用)などは	、必ず	記載する	る。(屋タ	外に関連す	「る改修を	する場	易合は	、、屋外の移動方法も必	ず記載	į.		●特殊寝台			
																				●床ずれ防止用	且		
																				●体位変換器	~		
																				●手すり		$\perp \bar{\Box}$	
																				7 7 7	Λ - # /□ πΛ /Λ /	Д.	
	介護状法	況		•各種介	護サービ	えの利用	状況について	記載する。												● 電祉用具(:			
																				●修後は利用が			
																				●誘躍场人徘	徊感知機器		
																				●移動用リフト			
																				●腰掛便座			
																				●特殊尿器			
																				●入浴補助用具			
1	住宅改修に	· 上니														たいのかを、記載する	0			●簡易浴槽		$\perp \Box$	
	用者は日常						翟をそのまま取 者やその家族				∑支援と	して効果が	があるのか	を総っ	合的	こ判断して記載する。				●その他			
	どう変えた						意見を求めて		(שט)	,										·			
																				·			
																				·			

住宅改修が必要な理由書

(P2)

記載要領

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目を具体的に記入してください。>

	①改善をしようと している生活動作 -	② ①の具体的な困難な状況(…なの → で …で困っている)を記入してください ■		的・期待効果をチェックした上で、 ることで ・・が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)
排泄	□ トイレまでの移動 □ トイレ出入口の出入 (扉の開閉含む) □ 便器からの立ち座り(移譲を含む) □ 衣服の着脱 □ 作泄時の姿勢保持 □ 後始末 ・ 今回の住宅改修におい て、改善しようとしている	・生活動作で困っていること、問題点につ いて、その状況や介護の現状を具体的に	□ できなかったことをできる ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 「ひと②を記載すること によって整理された現 状の問題点を踏まえた	・各生活動作の困難事項を改善するためにどのよ うな改修を行うのか、その方針を記載する。	□ 手すりの設置 ((・検討し、決定された改修項目について、改修内容の項目にチェックをつけ、改修箇所を記載する。)
入浴	生活動作の項目にチェックをうける。 「その他の活動」の欄に は、「排泄」「中入浴」・「外 出」以外の生活動作を記 載する。の移動(立ち座りを含む) 、例「「合所までの移動」、 「洗濯場までの移動」な 「洗濯場までの移動」な 「洗濯場までの移動」な 「洗濯場までの移動」な 「洗濯場までの移動」な	記入する。 (例:入浴に関する記載ならば、「入浴動作」といったあいまいなものではなく、「利用者のみで入浴したいのだが、50cmの高さがある浴槽の縁をまたぐことができないので、介助が必要となり困っている。」のように具体的に記載する。) ・①と合わせて利用者の状況が伝わるように記載する。	□ 上で、改修目的の項目 正子エックをつける。 □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他(・改善のための具体的な手段については、専門家 (リハビリテーション技術者や建築技術者)と一緒 に考えることが望ましい。 ・可能であれば、利用者に実際に動作をしてもらっ て確認することが望ましい。 ・福祉用具の使用についても考慮する。	・改修箇所は、具体的に記載することが望ましい。 (例:「■手すりの設置(トイレ)」ではなく、「■手すりの設置(便器横壁面)と記載する。) 「その他」の欄には、必要に応じて付帯工事を記載する。
外出	□ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入 (扉の開閉含む) □ 出入口から敷地外までの 屋外移動 □ その他()		□ できなかったことをできる ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他((() 便器の取替え ((
その他の活動			□ できなかったことをできる ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他(□ 滑り防止等のための床材の変更 (